

令和7年10月1日

市政記者クラブ 様

健康福祉局生活衛生部環境薬務課

担当：尾原・後藤 ☎972-2644

アジア・アジアパラ競技大会に向けて、デング熱などの蚊が媒介する感染症の発生を想定した薬剤散布訓練を実施します

1 趣 旨

2026年に愛知・名古屋で開催する第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）及び第5回アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋）においては、大会関係者を含む多くの方の来日が見込まれます。つきましては、デング熱等の蚊が媒介する感染症の市内での発生に備え、感染症対策の一環として、蚊の駆除を目的とする薬剤散布訓練を実施します。

2 日 時

令和7年10月14日（火） 10時30分～12時00分（予定）

（雨天の場合：令和7年10月30日（木）10時30分～12時00分）

3 場 所

名古屋市瑞穂公園（野球場西側）

名古屋市瑞穂区豊岡通3丁目28番地

4 訓練想定

市内でデング熱の輸入感染症患者が発生。患者への行動調査により、ウイルス血症期^{※1}にアジア・アジアパラ競技大会のメイン会場である名古屋市瑞穂公園内において蚊に刺されたことが判明した。蚊の生息密度調査を実施したところ、野球場西側において蚊の生息密度が高く、ウイルスを保有している蚊の存在が疑われた^{※2}。

※1 ウイルス血症期…患者の血液中にウイルスが確認される期間。デング熱の場合、発症日の前日から発症5日後までとされています。

※2 実際に市内で蚊媒介感染症が発生した場合は、蚊の生息密度調査と並行して、捕集した蚊のウイルス検査を実施します。

（裏面あり）

5 訓練内容

- (1) 保健所から施設管理者へ薬剤散布ポイントの説明
- (2) 散布車による薬剤散布（訓練には疑似薬剤として水を使用）
- (3) 感水紙^{※3}による薬剤散布状況の確認

※3 感水紙…水滴が付着すると変色する紙。薬剤散布ポイントに感水紙を設置することで、疑似薬剤である水が適正量散布されているかを確認します。



(参考) 令和6年度に感染症対策・調査センターが実施した薬剤散布訓練の様子

6 取材についてのご案内

- (1) 取材を希望される場合は、別紙により事前登録をお願いします。登録された取材機関には、追ってファクシミリで取材可能エリア等の詳細を送付します。
- (2) 取材は必ず取材可能エリア内をお願いします。また、映像撮影は代表報道機関のカメラ1台とし、記者、その他スタッフについては各社最小限の人数としていただきますようお願いします。

(参考) デング熱

- ・蚊が媒介するウイルスによる感染症で、熱帯・亜熱帯地方（特にアジア・オセアニア・中南米）に広く分布しています。ヒト(患者)－蚊－ヒトという経路で感染し、ヒトからヒトへの直接の感染はありません。
- ・潜伏期間は2～14日間（多くは3～7日）です。主な症状としては、発熱、頭痛（後眼窩痛）、筋肉・関節痛、全身倦怠感等があります。
- ・海外の流行地で感染し帰国後発症した症例が毎年200名ほど報告されています。2014年8月には東京都立代々木公園を中心とした国内感染（患者数160名）が発生しています。
- ・国内では、ヒトスジシマカがデング熱を媒介する可能性があります。蚊に刺されないようにすることが重要です。
 - 屋外での作業には長袖、長ズボンを着用し、肌の露出をなるべく避ける。
 - 虫除け剤の使用等により、蚊を寄せつけないようにする。
 - 蚊の幼虫（ボウフラ）の発生源となる小さな水たまりを作らないように注意する。
 - 室内への蚊の侵入を防ぐ。

【送信先】 FAX：052-972-4153
名古屋市健康福祉局生活衛生部環境薬務課 宛て

【締 切】 令和7年10月7日（火）午後5時まで（必着）

（報道機関名）

（連絡先）

（FAX）

取 材 登 録

当日取材予定の参加者全員のお名前（フルネーム・カタカナ表記）、区分に○印を記入のうえ、送信してください。

また、映像撮影は代表報道機関のカメラ1台とし、記者、その他スタッフについては各社最小限の人数としていただきますようお願いします。

氏 名	区 分
（記載例） ナゴヤ タロウ	カメラ・記者 その他（ ）
	カメラ・記者 その他（ ）